

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

Bird of Paradise

2017
No.
56
31 July

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 平成29年7月31日



第14回理事会および年次総会を開催

中村 彰（当協会 事務局次長）

6月20日、霞山会館にて日本・パプアニューギニア協会の平成29年度第14回理事会と年次総会が行われました。

昨年度は、友好、遺骨収集支援、広報（「ごらくちょう」「メールマガジン」等）、奨学生支援等の活動に加え、協会主催のパプアニューギニア友好親善ツアーの実施やパプアニューギニア軍楽隊創設に対する仙台育英高校の活動への支援、そして長年ご活躍されましたデュサバ駐日大使の送別会等を行ったことが報告されました。また TOKTOK 会も写真家辻丸純一氏による「パプアニューギニア踊り紀行」、千代田化工建設㈱穴井清孝プロジェクトダイレクターによる「パプアニューギニア LNG プラントについて」等、充実した講演会が行われました。

今年度は、従前の年次活動に加え、昨年度に引き続き、

協会主催の友好親善ツアーを企画していることが発表され、承認されました。理事に関しましては基本的には平成28年度と同様ですが、阿部英寿氏（㈱かもめ）が退任され、後任に柳田正弘氏（㈱かもめ）が就任されることが承認されました。

そして総会に引き続き行われた懇親会では、平成29年度春の叙勲で瑞宝中綬章を拝受されました山下勝男当会会長へのお祝いも併せて行われました。山下会長は長年の外務に関する御活動が評価され、去る5月11日に外務省にて勲記勲章の伝達を受けられ、皇居にて天皇陛下に拝謁されておられます。また懇親会には日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長の田中和徳先生も駆けつけて下さり、会員間の和気藹々とした楽しいひと時となりました。

協会の奨学生ご紹介

(協会事務局)

当協会では、ポートモレスビーの balan パタス元在京公使夫人のご協力と伊藤ポートモレスビー支部長の調整により、毎年3名の現地学生に奨学金を提供いたしております。

今回ご紹介の2名の他に、もう1名ビビアナ・ロパさん (Ms. Vivianne Ropa パプアニューギニア大学4年生) がおられますが、コミュニケーションの問題で原稿の入手ができませんでした。折をみてご紹介させていただきます。

会員の皆様からの会費により、毎年3名の学生に1人当たり年間70,000円相当の奨学金を提供しております。今後は奨学金支給者を少しずつでも増やしていきたいと考えております。引き続き会員の皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。



ANNA KUYAUNAKO

アンナ・クヤウナコさん ドンボスコ技術研究所 4年生

私はアンナ・クヤウナコです。現在、ドンボスコ技術研究所の4年生として、エレクトロニクス技術と英語の学士号を勉強しています。私は7人の兄弟のうち4番目で、ミルンベイ州出身です。

私は、2016年と2017年の2年連続で日本PNG協会奨学金を受けました。スポンサーの皆さまに心から感謝しています。この2年間、奨学金を頂けたことで、私の保護者の負担が大変軽減されました。皆さんの教育に対する大きな助けに感謝しています。引き続き日本PNG協会が多くの恵まれない生徒や

若者たちに、より良い未来を与えるために助けられると信じています。

私は、来年の2018年に教員になりたいと思います。私は教員という職を通じて若者に知識を還元したいと思っています。仕事が小さすぎたり、大きすぎたりするかもしれませんが、どこにいても引き続き勤勉に仕事をしていくことを約束します。皆さんの支援により学習ができたことを信じています。

最後に、皆さまに感謝申し上げます。今後も皆さまが祝福され、繁栄を続けることをお祈りいたします。



IMELDA KARALUS

イメルダ・カラルスさん ドンボスコ技術研究所 4年生

日本PNG協会の皆さまに2017年も再び奨学金を頂いたことに感謝申し上げます。皆さんの奨学金プログラムが祝福されています。アキさん(注:伊藤明德氏)が来て授業料の小切手を私に提示してくれた時は、本当にうれしかったです。

学校はちょうど2017年の第2学期が開始し、2週間目の授業をしています。第2学期は合計14週間です。

今年11月末に卒業する予定なので、ポートモレスビーか他の州のセカンダリー・技術高校の空席の

教職を探しています。私は申請書を書いていくつかの学校に送りました。このまま、就職活動を続けます。運が良ければ卒業後すぐに仕事をすることができるかもしれません。

皆さんの奨学金は、未払いの学費に使いました。私の人生は皆さまに救われました。どうもありがとうございます。皆さまにご加護がありますように、そして引き続き、若い生徒へのサポートして頂きたいと思っています。

在PNG日本大使館情報 経済協力（7月号分）

中嶋 敏（在パプアニューギニア特命全権大使）

3月27日、無償資金協力による「アロタウ市場及び水産設備改修計画」の署名式が行われました。ニューギニア島南東の海に面したミルンベイ州アロタウ市にある老朽化した市場及び栈橋の改修・整備を行うことを目的とした事業です。

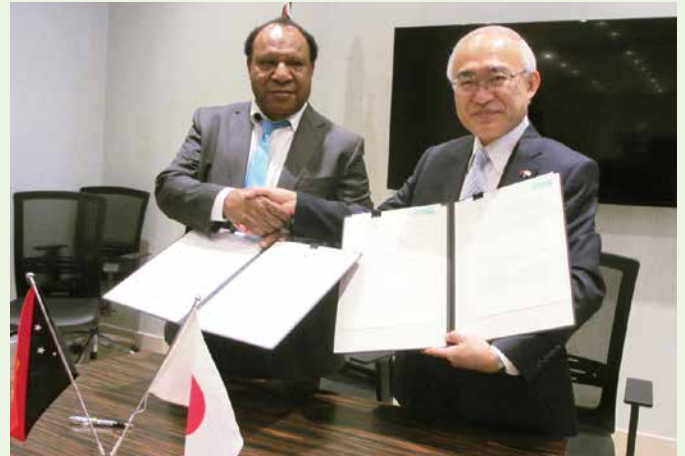
当日は、日本政府を代表して私が、PNG 政府を代表してリムビンク・パト外務大臣が出席して交換公文の署名が行われました。

漁業と農業は PNG の経済成長を牽引する重要な産業であり、日本の対 PNG 支援における重点支援分野の1つです。今回新たに整備される衛生的な市場と水産施設が漁業・農業の幅広い生産者と消費者を呼び込み、ミルンベイ州の地域経済を活性化させ、ひいては PNG 全体の経済にも貢献するという好循環が期待されます。

パト外務大臣からは PNG の国民生活の向上に寄与する日本政府からのこれまでの継続的な支援に感謝すると共に、このプロジェクトがミルンベイ州海岸地域の経済、

女性の役割拡大及び住民生活の質の向上に寄与するとして謝意が表明されました。

当館として、PNG の国家計画である PNG ビジョン 2050 を踏まえ、引き続きインフラ開発に貢献し、人々の生活の質の向上及び両国関係の強化に取り組んで参ります。



駐日PNG大使館情報

臨時代理大使紹介 Mr. Samson Yabon

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

前任の Duava 大使が 2017 年 4 月 22 日に離日されてから、現在臨時代理大使として日々孤軍奮闘されているヤボン臨時代理大使をご紹介します。

ヤボン臨時代理大使は、2016 年 11 月にパプアニューギニア大使館の参事官として着任致しました。経歴としましては、2003 年 4 月から 2005 年 3 月まで、神戸大学で研究生として International Corporation Policy を学び、帰国後、University of PNG にて講師として教鞭をとりました。2007 年 4 月から 2009 年 3 月に再来日し、早稲田大学大学院にて、主に「日本とパプアニューギニア及び南アジア太平洋地域の国際交流」の研究などを学び、帰国後、2009 年から 2012 年の間、University of PNG にて再び講師として、早稲田大学大学院で研究したことを学生たちに講義致しました。2012 年にパプアニューギニア外務省に入省し、南アジア兼太平洋州地区の総括責任者を務めました。外務省に入省後は、首相の随員として 2016 年の伊勢志摩サミットなど重要な会議のために何度も来日しています。2016 年 11 月に参事官として、再々来日し、2017 年 4 月に臨時代理大使に就任致しました。

現在は外交官一人の大使館ですが、日本人大使館スタッフと協力しながら政治、経済、観光、文化の促進を図っている次第です。皆様どうぞヤボン臨時代理大使を今後とも宜しくお願い致します。



ベン・ラインは 1825 年スコットランド発祥で日本での現地法人設立は 1970 年です。

1859 年横浜にベン・ラインの最初の本船を寄港させております。1923 年の関東大震災では被災民 600 人の救助でベン・ラインの所有船舶を投入し、当時の日本政府から手厚い御礼を受けたという記録も残っております。1993 年には自社保有のアセットを全て売却し、海運代理店業へと自ら業態を変えることとなりました。

現在では、定期コンテナ船・多目的船の集荷代理店・客船を含む船舶代理店業務・ISO タンクコンテナの輸送手配等、広範囲かつ高品質なサービスを提供しております。今回はそのうちの二部署のサービスをご紹介します。

Swire Shipping

当社の Swire Shipping 部は現在北アジアと New Zealand・南太平洋を結ぶ North Asia Service と南太平洋に特化した Pacific North Asia の 2 つのサービスを提供しています。

North Asia Service は多目的船を 4 隻投入しております。



日本からの輸出は New Zealand や Papua New Guinea の Lae 向けが多く主に鋼材、自動車、プロジェクト貨物などがあり、輸入の主な貨物は森林材が挙げられます。

一方、アジアと南太平洋を結ぶ Pacific North Asia Service は多目的船を 3 隻投入しております。日本からの輸出は主に中古車やODA(政府開発援助)関係物資などがあり、輸入では魚介類や食品などの冷凍・冷蔵貨物を中心に輸送しております。

Project Logistics

当社のプロジェクト・ロジスティクス部では、日本からパプアニューギニアを含む南太平洋の国々へ、長尺・重量物輸送業務を行っています。

少数精鋭の経験豊かなスタッフが、安全輸送を常に最優先事項として、日本のお客様のサポートをしています。海上輸送のみならず、貨物到着地での港以遠における内陸輸送・輸入通関・現場での立ち合い・免税手配等も扱っています。



事務局からのお知らせ

当協会も 2002 年の創立から 15 年目を迎えました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

引き続き役員、事務方一同頑張っておりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。さて、6月20日の総会において2017年度の事業計画が承認されました。PNG への協会主催旅行の実施、3 回の

TOKTOK 会の実施が予定されておりますが、会員の皆様からもご希望などがございましたら、なんなりと事務局まで御連絡、ご相談いただければと存じます。今年度もよろしくお願いいたします。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員: 30 社 ◆ 個人会員: 176 名 (2017年7月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社
TEL: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556 E-mail: info@jpng.or.jp URL: http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG 人 1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ